

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 140 (通算 414 回)

2009 年 3 月 24 日(火) / 26 日(木) / 4 月 13 日(月) / 16 日(木)

役員会・理事・担当者の役割と説明責任――

大学法人の資金運用・管理体制の構築

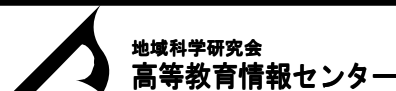
～責任ある意思決定とは / 運用規程と執行管理の進化～

※サブプライム金融危機下での失敗の本質 / 文部科学省『意見』通知(1/6)の読み方
※ポリシー策定と文書化～役割と責任の限定 / 運用管理とガバナンス / 情報開示と社会評価

講師：梅本 洋一 氏 / インディペンデント・フィデュシヤリー(株)代表取締役
法人資金運用・管理コンサルタント、非営利法人資金運用研究会事務局長

■ 企画協力 非営利法人資金運用研究会

2009 年 3 月 24 日(火) / 4 月 16 日(木) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)
2009 年 3 月 26 日(木) / 4 月 13 日(月) 大阪ガーデンパレス 会議室 (新大阪)



日 時：[東京会場] 3 月 24 日(火) / 4 月 16 日(木)
：[大阪会場] 3 月 26 日(木) / 4 月 13 日(月)
10:00～16:30

※上記 4 回とも、時間、内容は同じです。

東京会場：剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)
千代田区紀尾井町 3-27 Tel：03-3234-7362
東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口徒歩 4 分
JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口徒歩 10 分

大阪会場：大阪ガーデンパレス 会議室 (新大阪)
大阪市淀川区西宮原 1-3-35 Tel：06-6396-6211
新幹線・JR 東海道線「新大阪駅」西口徒歩 10 分
地下鉄御堂筋線「新大阪駅」4 号出口徒歩 8 分
シャトルバスあり (詳細は HP 参照)

<http://www.hotelgp-osaka.com/access/index.html>
※会場の地図及び受講証を送付しますので必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代込)：55,000 円(消費税込)
B. メディア参加(資料・カセットテープ送付)：56,000 円(送料, 消費税込)
C. 非営利法人資金運用研究会会員：30,000 円(消費税込)

※参加費の払い戻しは致しませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

※新年度(4 月以降)の振込でもかまいません。

申込方法：FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店	普通 1159880
三菱東京 UFJ 銀行神田支店	普通 5829767
三井住友銀行麹町支店	普通 7411658
郵便振替	00110-8-81660
口座名 <(株)地域科学研究会>	

※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106 Tel：03(3234)1231 / Fax：03(3234)4993
E-mail：kkj@chiikikagaku-k.co.jp URL：http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 140

2009 年 月 日

大学法人の資金運用・管理体制の構築

[東京会場] 3 月 24 日 4 月 16 日

[大阪会場] 3 月 26 日 4 月 13 日

メディア参加 会員参加

(に 印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

「これらの根本原因はガバナンスの問題であり、資産運用の問題では無い」。金融危機が発生する以前より、過去3年間にわたるセミナーや寄稿を通じて、学校法人における資産運用とその管理体制に対して鳴らし続けてきた警鐘である。そして現在、世界的な金融危機によって、学校法人の資産運用損失が相次ぎ表面化し、それらを受けての文部科学省からの『意見』通知(1月6日)に至っている。

現在の本質的な課題の所在、対処しなければならないことは、単なる資金運用やその損失ではなく、法人ガバナンス、すなわち、(1)法人経営と資金運用の関連・意味付け、(2)資金運用担当者と役員(会)の相互の役割分担とコミュニケーションの機能不全、である。学校法人は速やかにこの問題の解決に取り掛からなければならない。同様の問題は、この間、積極的な運用を行ってこなかった法人においても潜在している筈である。

役員(会)と資金運用担当者を交えての上記の議論なしに、資産運用管理体制についての「点検」と「施策構築」は有り得ない。むしろ、(1)、(2)の質の向上というゴールに向かう過程において、意味ある「点検」と「施策構築」は導き出される。「それはなぜなのか?」「どのようにそれらは導き出されるのか?」「それらはどうやって、具体的な資産運用施策、運用管理体制、規程等に落とし込まれるのか?」

本セミナーは、運用担当実務者から役員(会)メンバーまでを対象とし、上記のポイントについて「理念」「理論」から「実務・事例」まで分かりやすく解説いただく。

時間	講義項目
10:00 } 11:00	<p>□ サブプライム金融危機下での資金運用～失敗の本質 ～文部科学省『意見』通知(1/6)の読み方～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. なぜ、資金運用の失敗は繰り返すのか 2. 文部科学省『意見』通知の読み方 3. 再発防止の岐路に立つ大学資金運用 4. いずれの道を選択するにも、もはや意思決定を免れない大学役員(会) <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
11:10 } 12:30	<p>□ 大学資金運用管理ポリシーの策定と文書化 ～理念・基本方針の明示と役割・責任範囲の限定～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 役員(会)と運用担当者の補完関係 2. 短期運用か、中長期運用か 3. 結果志向か、プロセス志向か 4. 運用提案と意思決定 5. 運用担当者と役員(会)が共有すべき基準 ～引き受けてはいけないリスク、引き受けてもよいリスク～ 6. これらを文書に表わすとどうなるか <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
13:30 } 15:00	<p>□ ポートフォリオによる運用管理の立案プロセスの実際 ～いかなる環境においても毅然とした説明が行える為に～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ポートフォリオによって運用管理せざるを得ない訳 2. 法人のミッションと資金運用管理のミッションを一致させる 3. 資金運用管理のミッションは充足されているという説明性 4. 想定外の値下がり・損失を被りにくくしておく 5. 上記の1～4を記した投資方針を準備する <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
15:10 } 16:30	<p>□ 運用管理オペレーションとガバナンス ～組織内インフラと関係者の業務の軽減～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運用管理検討委員会設置の意義とその検討内容 2. 運用管理規程のモデル例 3. 投資方針書の策定と提案の仕方 4. 役員(提案をされる側)の心得 5. 運用経過のモニター、報告、評価、見直しの実際 6. 投資方針と運用経緯を正々堂々と開示するという選択肢 ～戦略的情報公開こそが“社会評価”のキメ手～ <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>

梅本洋一氏のプロフィール

1967年富山県生まれ。1990年国際基督教大学教養学部卒業後、野村證券に入社。以後13年間、法人・個人の資金運用業務に従事。2003年アセットマネジメント・ラボラトリーに入社。以来、大学法人、財団法人、社団法人等の非営利法人の資金運用ガバナンスおよび運用プランについてのコンサルティング業務に特化。コンサルティング実績多数。08年インディペンデント・フィデューシャリー(株)を創設、代表取締役。また、非営利法人資金運用研究会の事務局長を兼務。論文執筆や法人講習会を通じ、非営利法人の資金運用発展のための普及・啓蒙活動を推進している。